

台風19号（10月12日）の影響のため
延期した講演会を11月9日に開催いたします。

宮城学院女子大学開学70周年記念

宮城学院女子大学公開講演会
庶民剣士が活躍した江戸時代
ー江戸時代像を見直すー

【概要】

江戸時代に剣術や帯刀ができたのは武士だけだと考えられていますが、実態は大きく異なっていました。武士よりも腕の立つ庶民剣士がたくさん存在し、百姓身分の道場主のもとに多くの大名や武士たちが入門していたのです。幕末の浪士組や新選組も庶民剣士が主役でした。庶民剣士は全国に無数に存在しており、東北にもたくさんいました。旧仙台藩領や出羽国の庶民剣士の事例なども紹介します。

この講演では、江戸時代の身分制概念をくつがえす研究成果をわかりやすく報告します。

日 時：2019年11月 9日（土）13：30～15：30

会 場：宮城学院女子大学講義館 C201教室

講 師：宮城学院女子大学学長 平川 新



1950年（昭和25）、福岡県生まれ。専門は日本近世史。東北大学名誉教授。

著書に『伝説のなかの神』（吉川弘文館）、『紛争と世論—近世民衆の政治参加』（東京大学出版会）、『近世日本の交通と地域経済』（清文堂出版）、『開国への道』（小学館）ほか。『戦国日本と大航海時代—秀吉・家康・政宗の外交戦略』（中公新書）で2019年和辻哲郎文化賞を受賞。

入場は無料ですが、お申し込みが必要です。

参加ご希望の方は、下記まで電話またはメールでお申し込みをお願いいたします。

宮城学院女子大学生涯学習センター

TEL：022-279-4341 メール：mgcenter@mgu.ac.jp